

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

<p>特別管理産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和7年6月17日</p> <p>東京都知事 殿</p> <p>提出者 住所 東京都新宿区新宿5-14-6 氏名 野村不動産パートナーズ株式会社 建築事業本部長 小林 哲司 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-5368-7802</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	野村不動産パートナーズ株式会社 建築事業本部 建築インテリア一部
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル8階
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業（総合工事業）
②事業の規模	元請完成工事高 5,509,272,670円（前年度実績）
③従業員数	34名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	処理の工程 ・ 廃石綿（レベル1・2） ⇒ 分別 ⇒ 埋め立て ・ 廃石綿（レベ3） ⇒ 分別 ⇒ 埋め立て ⇒ 固形燃料にし、リサイクルして再利用。

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)	
【統括】	総務・コンプライアンス部 ↓
【事業本部】	建築事業本部 ↓
【担当部】	建築インテリア一部 ↓
【担当課】	建築一課・建築二課・建築四課 ↓
【現場】	担当者・現場代理人

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	排出量	192.60 t	- t
	(これまでに実施した取組) ・ 分別による産廃量の削減 ・ 現場ごとに現場代理人及び担当者による排出量の確認 ・ 従業員の環境保全意識を高める啓蒙活動や研修の実施		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	排出量	173.30 t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状体制を継続できるように管理を徹底していく。 ・ 前年度実施した内容の継続と現場の環境パトロールを継続するほか、環境保全意識を高めるための ・ 研修会を実施して産廃排出抑制に努める。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃石綿 ・ 特別管理産業廃棄物を区画して保管 ・ 処理業者にて分別
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状の継続

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	- t	- t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	- t	- t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	全処理委託量	192.60 t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	192.60 t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄処理状況や委託量をが正確かつタイムリーに確認するため電子マニフェストが利用可能な会社へ委託を行った。 ・最終処分場の状況を確認し問題ない会社と取引を行っている。 		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	-
	全処理委託量	173.30 t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	173.30 t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> 前年度実施した内容の継続と現場の環境パトロールを継続するほか、環境保全意識を高めるための研修会を実施して産廃排出抑制に努める。 収集運搬処理会社のCO2削減取組や削減量を把握する。 			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	192.60 t	
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> 現在も電子マニフェストを使用しておりますので継続します。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。